

令和4年(2022)年10月4日

庁内環境調整委員会 委員長
八王子市長 石森 孝志 様

八王子市役所環境マネジメントシステム監査チーム
主任監査員 奥村 司
副主任監査員 石井 正光
副主任監査員 江崎 美枝子

八王子市役所環境マネジメントシステム監査 報告書

令和4年度八王子市役所環境マネジメントシステム(以下、「H-EMS」という。)の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の形式

(1)内部監査(書面による自己点検)

各所管の環境推進員が自己点検シートを使用し、H-EMS に対する取組状況の自己点検を行う。

(2)集合監査

環境推進監督者より、対面で、H-EMS に対する取組状況について聞き取りを行う。

(3)現場監査

現地にて H-EMS が適正に運用されているかを確認する。

2 監査日程

(1)内部監査:書面による点検期間 令和4年6月6日～17日

(2)集合監査:令和4年7月12日・13日 (計2日間)

(3)現場監査:令和4年7月26日～8月1日 (計5日間)

3 監査対象

(1)内部監査:全所管及び全施設

(2)集合監査:デジタル推進室、未来デザイン室、総合経営部、契約資産部、福祉部、
子ども家庭部、環境部、資源循環部、都市計画部、道路交通部 全10部局

(3)現場監査:デジタル推進室(デジタル推進室)、未来デザイン室(未来デザイン室)、
総合経営部(経営計画課・経営改革課・広聴課)、
契約資産部(庁舎管理課・建築課・契約課)、

福祉部(指導監査課・高齢者福祉課・障害者福祉課心身障害者福祉センター・生活福祉総務課)、
子ども家庭部(子どもの教育・保育推進課子安保育園いずみの森分園・子育て支援課・青少年若者課中野児童館・子ども家庭支援センター)、
環境部(環境政策課・環境保全課)、
資源循環部(戸吹清掃事業所・戸吹クリーンセンター)、
都市計画部(土地利用計画課・都市計画課・交通企画課)、
道路交通部(管理課・交通事業課・補修センター) 全 26 か所

4 監査チーム

市民監査員(環境推進会議委員)15名、市民監査員(地球温暖化防止活動推進員)4名、
環境専門家 1名、市職員(八王子市庁内環境調整委員会幹事会委員)14名

5 監査内容

H-EMS では、八王子市役所エコアクションプランを効果的に推進するため、それぞれの事務事業にあった環境配慮行動の目標を設定し、各所管及び施設で温室効果ガスの削減に取り組んでいる。

この取組について、環境推進監督者・環境推進責任者・環境推進員のそれぞれが役割を認識し、環境配慮行動が着実に実行できているかを確認するため、全所管及び全施設が書面による自己点検を行うとともに、市民監査員が参加した監査チームにより監査を実施した。

6 監査結果

(1)全体を通して

独自規格の H-EMS がスタートしてから6年目となり、より効果的な監査を行うために昨年度に引き続いて内部監査を行いました。内部監査では、全所管及び施設の環境推進員が H-EMS に対する取組状況を自己点検シートにより自己点検しました。環境推進監督者を集めての集合監査では、令和4年2月のゼロカーボンシティ宣言を行ったことを受けて、それぞれの部が担う役割を聞き取りしました。また、現場での取組を確認する現場監査を実施しました。今年度の監査の結果は、それぞれの部署で、H-EMS ハンドブックに記載されている環境配慮への具体的行動をその部署の実情に合わせて着実に実行しており、概ね良好と評価します。

集合監査では、環境推進監督者が各部署の一人ひとりが環境配慮行動を意識するよう指導し、職員への周知や目標への取組を管理していることが確認出来ました。また、事業を構築する際にゼロカーボンを念頭に置いて取り組んでいるとの報告もありました。これからも市民・事業者・市が一体となって、環境配慮に取り組むよう施策を推進してください。

現場監査では、使用量実績をきちんと把握し、グラフによる見える化を実施している所管や、環境配慮行動を掲示し意識づけている所管の取組が確認出来ました。数値目標を掲げて取り

組むことは、具体的な行動につながり、環境に対する高い意欲を持って取り組むことができると感じました。多くの所管でマイボトルの利用、不要な電気の消灯やごみの分別などが徹底されており環境配慮行動が浸透していました。また、複数の所管が事務用品などの物品の共有化を行い、必要なものだけを購入し、有効に利用していました。再利用できる封筒やファイル、資源回収ボックスなどが1か所に集約されて使い勝手が良いと思います。これは、事務スペースの確保の観点からも有効だと思います。フリーアドレス方式を採用している所管では、整理整頓がなされ、スペースの有効活用と紙の使用量の削減につながったとの報告がありました。メリット・デメリットを整理して全庁的に取り入れてはいかがでしょうか。庁外の施設では、全体的に照明のLED化が進んでいました。窓側では採光を取り入れ消灯や間引き点灯を行うなどの工夫が見られます。施設利用者にも環境配慮に取り組んでいただくように、わかりやすいポスターを掲示するなどそれぞれの職場環境に合わせて取り組んでいます。PDCAサイクルは、システム全体を振り返る大きなPDCAも必要ですが、日々の業務や実施手順ごとに、「やり方はこれで良いのか?」「うまくいったこと、つまづいたことは何か?」などと振り返り、評価を行う小さなPDCAがさらに前進した取組につながるかもしれません。これからも、環境に対する高い意欲を持ってゼロカーボンシティを実現してください。

なお、内部監査の結果によれば、ほとんどの取組が「できている」との回答でした。しかし、その他のエネルギー対策について、14%が「できていない」と回答がありました。前年に比べて9%改善されていますが、「できていない」とした主な理由は、エネルギー使用量の見える化ができていないとのことでした。エネルギー使用量の見える化は、前年との比較を掲示するだけでも使用量の削減を意識づけ、課題の把握や改善策の検討、省エネルギーの推進につながりますので、可能な限り導入に努めてください。

2050年ゼロカーボンシティ実現に向けては、日々の事務事業における環境配慮行動を徹底するとともに、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー設備などの導入、各所管の施策や事業において環境配慮の視点を取り入れることも必要となります。市域全体の総合的な温暖化対策の推進者として自ら率先して、積極的な環境負荷の低減を図ることを期待します。

(2) 評価及び監査所見

ア 集合監査

監査対象部	評価	監査所見
デジタル推進室	○	ウェブ会議やオンライン研修の活用などにより、ペーパーレス化に貢献している。また、行政手続きのオンライン化により、来所しなくても手続きができることで、移動時の二酸化炭素排出の低減に寄与している。今後もDXの推進が二酸化炭素排出削減につながることを意識し、DXの観点から二酸化炭素削減につなげてほしい。
未来デザイン室	○	フリーアドレス方式の活用により、紙類の使用量削減や残業

		<p>時の電気使用量削減など環境負荷の低減ができています。</p> <p>地域づくり事業では、変革のキーワードとして掲げているカーボンニュートラルなどの話題も取り上げていて、意識啓発につなげていた。</p>
総合経営部	○	<p>フリーアドレス方式を採用したことで、資料の整理や紙類の使用量削減が進んでいる。また議会への資料もタブレット活用を進めることで紙の使用量削減が進んでいる。</p> <p>経営部門であることから、率先して環境配慮に務めることでモデルとなり、市役所全体への取組につながっている。積極的に庁内の仕組みを変え、影響力を発揮してほしい。</p>
契約資産部	○	<p>太陽光発電の活用、プラグインハイブリットや電気自動車の導入を進めている。清掃工場で発電された電気を公共施設で使用する自己託送はとても良い取組である。</p> <p>公用車の使用にあたっては、走行の仕方(エコドライブができていかなど)、燃料(電気を含む)の使用量などデータ化し、比較して二酸化炭素排出量が削減できているか確認すると良い。本庁舎の照明のLED化を早くすすめてほしい。</p>
福祉部	◎	<p>窓口業務や訪問業務、施設管理など業務は多岐にわたるが、窓口申請の電子化や記録簿のデジタル化によりペーパーレスを推進して業務の効率化を進めている。防災備蓄品の活用や農福連携の事業、省エネの徹底、施設の電気使用量のグラフ化、公用自転車の活用など工夫して取り組んでいる。</p> <p>市役所最大級の部署であり、職員一人ひとりの意識の高さが重要となる。今後も強力に取り組んでほしい。</p>
子ども家庭部	◎	<p>管理している施設が多いが、取組がすばらしい。施設の管理にエアコンの温度管理と換気を調整するためのCO₂モニターの利用や申請書類の電子化、連絡システムの活用でペーパーレスに取り組んでいる。また、保育事業は国や民間施設の動向を取り入れ、遊びの中に環境教育を取り入れるなど工夫されており、子どもと保護者に対する啓発の機会となっている。今後も施設の温度管理は子ども優先で設定するとともに、各種エネルギー設備のメータやデータに注意して管理を行ってほしい。</p>
環境部	○	<p>ゼロカーボンシティ宣言をして、市役所及び市全体の旗振り役として意識が高い。職員の意識の向上のために、ハンドブックなどを使用した研修や取組の見える化を進めている。また、</p>

		公共施設への再エネの導入、公用車の低炭素化を図っている。地球温暖化対策地域推進計画の改定を進めており、市民・事業者・行政のさらなる取組が必要だとのことだが、リーダーシップを発揮して、ゼロカーボンに向けて改革を進めてほしい。
資源循環部	○	ごみ収集袋のバイオマス資材への変更の計画や、食品ロス削減のためのフードシェアリングサービスの検討など新しい取組が伺える。市民に向けた啓発を展開し意識の向上に努めている。ごみ収集体制の見直しを行い効率的な体制が構築できている。ごみ収集車を管理しているので、委託業者も含めて消費燃料の量だけでなく走行時のエコドライブの状況も確認することでさらなる二酸化炭素排出の削減に貢献できる。
都市計画部	○	常にエネルギー使用量の削減や紙の使用量削減に努めている。カーボンニュートラルに向けて従来の取組に加えて、DXを進めペーパーレス化を目指している。開発事業の際に代替への緑を創出しているが、生産緑地なども含めみどりの適正管理と活用を進めてほしい。
道路交通部	○	街路灯をESCO事業でLED化を実施し、一括管理を行い節電に努め、二酸化炭素排出量の大幅な削減を行うことができた。公用車を使用することが多い部署だが、常にエコドライブを心掛けている。管理している施設に再エネの導入を検討しているとのことだが、ぜひ実現してほしい。街路樹の適正な維持管理や、道路整備などで生まれるスペースをポケットパークの視点で整備するなどグリーンインフラを積極的に推進してほしい。

イ 現場監査

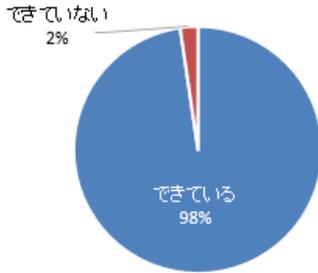
監査対象部 (監査対象課)	評価	監査所見
デジタル推進室 (デジタル推進室)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・会議はタブレットを活用するなどペーパーレス化が進んでいる。 ・ごみ箱の表示が小さく不鮮明であり、注意事項などが不足していると感じた。 ・課の目標設定や役割についての認識はしっかりできていた。

<p>未来デザイン室 (未来デザイン室)</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーアドレス方式を採用し、私物は個人用ロッカーにしまい、机上是整理されている。 ・コピー機やプリンターの使用状況を見えるところに掲示し共有している。 ・デジタル化を進めることにより冊子の印刷部数を削減した。
<p>総合経営部 (経営計画課、経営改革課、広聴課)</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年のコピー使用実績を掲示し啓発を行っている。 ・フリーアドレス方式やデジタル化の活用や資料作成時に可能な限り枚数を減らすことを心掛け、個人が持っている紙資料が大きく減り、紙の使用量削減につながった。 ・紙の使用量やエネルギー使用量を削減するために、意識を高めて、実践につなげている。
<p>契約資産部 (庁舎管理課、建築課、契約課)</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の電力ひっ迫時には、全庁に不要な電気の消灯を呼びかけ、エレベーターの運転を減らすなど良く取り組んでいる。 ・庁舎屋上の太陽光発電や自己託送の発電量や消費量をモニターで市民に見える化できていて良い。 ・建築課では、プリンターから出力する際、個人にアドレスが割当られており、アドレスを入力しプレビューを確認することで、不要な出力を抑制していた。 ・資源回収 BOX が正確に分別されていない状態が、一部見受けられた。
<p>福祉部 (生活福祉総務課、高齢者福祉課、心身障害者福祉センター、指導監査課)</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務が多く、デジタル化が進まない部分もあり紙の使用量削減にはさらなる工夫が必要。 ・ごみの分別や資源置き場が整理整頓されてわかりやすくなっていた。 ・外出するときは、公用自転車の積極的な利用を進めている。車を使用する場合はエコドライブに努めている。 ・数値目標を掲げ取組を進めることが、良かった。 ・心身障害者福祉センターでは、市の基準に基づきしっかりと徹底した環境配慮を行っている。
<p>子ども家庭部 (子育て支援課、中野児童館、子役保育園いずみの森分園、子ども家庭支援センター)</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの職場環境の中で工夫しながら、しっかり取り組んでいる。 ・子どもが自ら行動できるようにポスターを掲示していた。 ・中野児童館では隣の公園も含めた美化活動を行っているのがすばらしい。緑のカーテンが美しくできていた。 ・子安保育園いずみの森分園では子ども向けの環境講座の企

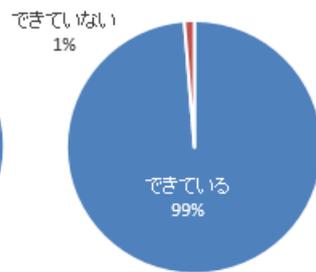
		画や、廃材を使った作品作りなどに取り組んでいる。またその作品を処分するときにも分別・リサイクルを行っており意識が高い。
環境部 (環境政策課、環境保全課)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物が1か所にまとまっており使い勝手が良い。 ・公用自転車の利用範囲を広く決めており、意識が一段高い。ゼロカーボンシティ宣言に伴い進めている計画改定で、さらにステップアップすることを期待する。 ・緑地保全に企業やNPOが参加しているとのことだが、さらに参加企業が増えていくことを期待する。 ・環境政策を進める部署として、全庁の省エネ・創エネなど待ったなしだと後押しし、推進してほしい。
資源循環部 (戸吹清掃事業所、戸吹クリーンセンター)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・細かくごみの分別がされており、職場から極力ごみが排出されないように工夫されていた。 ・照明はLED化が済んでいる。間引き点灯、採光のうえ消灯などを行って節電している。 ・ペーパーレスでの会議、資料の回覧など紙の削減に取り組んでいる。 ・工場見学に来所する生徒・児童に、ごみの分別の重要性を含めて環境教育を行っていて良い取組である。
都市計画部 (土地利用計画課、都市計画課、交通企画課)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な電気の消灯、ごみの分別など自然に行われており良好。 ・消灯が毎回できているのか、誰が消しているのかなど、数値化は難しいが見える化を行うと、全員が意識して取り組んでいるのか分析できてなお良い。 ・都市計画課では、窓口で使用するパソコンの使用頻度を考えて曜日によって稼働台数を抑制している。使用頻度を分析して、稼働台数を抑制できるかももう一歩進んでもらいたい。
道路交通部 (補修センター、交通事業課、管理課)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量をグラフにして掲示し見える化に取り組んでいる。補修センターは、築60年の建物であるがよく努力し工夫をしている。 ・公用自動車の利用状況の把握やパソコンなどの情報機器の管理など状況の把握に努めていて良い。 ・所掌する事業においても、管理施設のLED化による節電や、設備の省エネルギー対策などを行い積極的にエネルギー使用量の削減が行われている。

ウ 内部監査(自己点検)結果

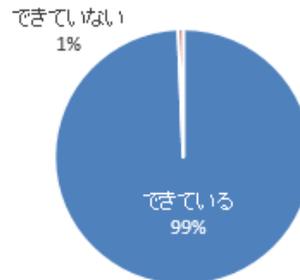
①目標設定と点検



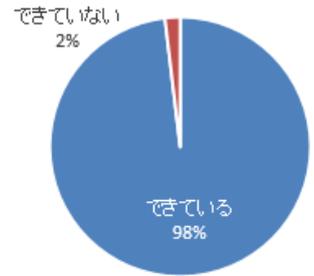
②紙の使用量削減



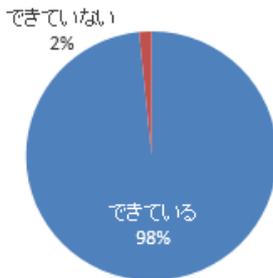
③廃棄物の排出・抑制、
資源化の推進



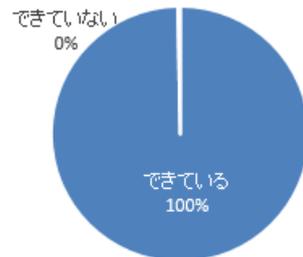
④エネルギー使用量の削減



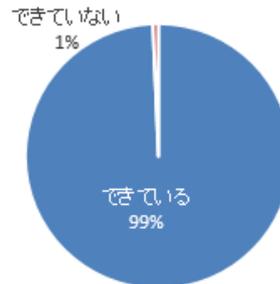
⑤環境に配慮した物品の購入



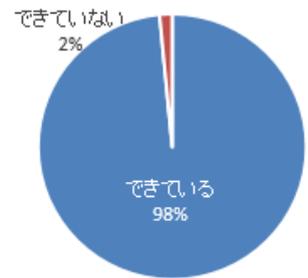
⑥水道使用量の削減



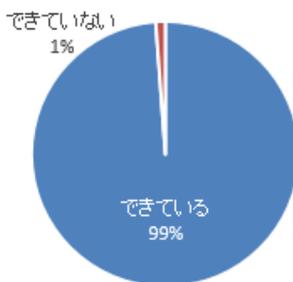
⑦公用車を運転するとき



⑧通勤時の環境配慮



⑨事業者等への環境配慮の要請



⑩その他のエネルギー対策

